



## プロジェクト

「ケツアルテナンゴのオリンテペケ  
行政区チュイスック村立学校の教育  
システムのインフラ拡大」

## 活動最終報告

グアテマラ  
ケツアルテナンゴ県

## 目次

- 1 . 一般データ
- 2 . 背景
- 3 . プロジェクト実施の要約
- 4 . プロジェクトの受患者
- 5 . 実施活動（最初の提案で含まれていたもの）
- 6 . その他の実施活動（最初の提案で含まれていなかったもの）
- 7 . 成果
- 8 . 活動の最終予定表
- 9 . 予算の執行
- 10 . プロジェクト実施及び全関係者の参加の全般評価
- 11 . 付属文書

## 1 . 一般データ

### プロジェクトの表題：

「ケツアルテナンゴのオリンテペケ行政区チュイスック村立学校の教育システムのインフラ拡大」

### 位置：

国：グアテマラ

地方：西

県：ケツアルテナンゴ

行政区：オリンテペケ

共同体：チュイスック村

### 地元のパートナー及びその他の参加団体：

当該土地においてプロジェクト実施の責任のある地元のパートナーはインテルビダ・グアテマラである。

インテルビダ・グアテマラは農村地域における地元の総合開発事業の支援を任務とし、1996年にその活動を開始した。現在までソノラ、ウエウエテナンゴ、サンマルコス、キチェ、トトニカパン、ケツアルテナンゴの各県において、面積 8,500 k m<sup>2</sup>以上に对应し 1,615,750 人の住民に恩恵を与えながら 1,654 集落において活動を行って総合開発区域もしくは連帯活動地域 (TERRAS) を 13 ヶ所開設している。

プロジェクト実施のために父兄会や当局のメンバーや学校の教職員の参加も考慮に入れられた。

**プロジェクト総費用：** 21,216.27 ユーロ

**プロジェクト開始日：** 2004年3月24日

**終了日：** 2004年8月30日

## 2 . 背景

グアテマラ共和国は中米地域に位置し、108,889 k m<sup>2</sup>の面積と最新の国勢調査 (第 11 回国の人口調査) に従うとおおよそ 1120 万人の人口を持つ。北及び西はメキシコ合衆国と、南は太平洋と、東はベリーズ、カリブ海、エルサルバドルとホンジュラス

の各共和国と隣接する。グアテマラが位置する経緯は次の通りである。北緯 13.44° ~ 18.30° ・ グリニッジより西経 87.24° ~ 92.14°

オリンテペケ行政区はケツアルテナンゴ県に位置する。同行政区は県中心地の北部に位置し、36 k m<sup>2</sup>の面積と2002年の人口調査による人口19,473人を持つ。そのうち88%は先住民で12%は非先住民である。海拔2,350mの高度に位置する。行政区は1集落と2村と4村落を持っており県中心地から7kmのところのところに位置し、中心地にはアスファルトで舗装された道路でアクセスできる。

チュイスック村はオリンテペケ行政区の中心地から5kmのところのところに位置し、同地域へのアクセスは起伏のある未舗装の道路によりなされる。概算で2,046人の人口を持ち、そのうち962人は男性で1,084人は女性である。住民は約300世帯により合致され、住民の年齢分布は以下の通りである：567人(0~6歳)、482人(7~14歳)、932人(15~64歳)、65人(65歳以上)。人口の総計のうち94%はマヤ系先住民のキチェ族で、その他の6%は非先住民である。

オリンテペケ行政区チュイスック村立学校は、学校インフラと教職員の欠如に特徴付けられる、国の水準の教育システムにおける既存の問題的な事項に何年間も苦しんでいる。この不足は高い非識字率という結果を招いている。(約67%)

プロジェクト実施前、同校は物理的なスペースの欠如という問題に直面していた。同校には11教室があったが、初等及び就学前段階の計13学年に対し運営されていた。平均で1教室43人の計554人の生徒に対応していた。生徒に対応するため2つのスペースが使われていた。1つは学校の多目的室でもう1つは学校倉庫である。補足としていくつかの学年は、56人の生徒がいた5年生の場合のように超過密状態にあった。

### 3 . プロジェクト実施の要約

実施プロジェクトはインフラ設備の不足問題の解決と、始めて入学する子どもに対して不自由のない安全な環境の提供という目的を持っていた。そのために教室3室の建設が検討されていた。初期プロジェクトは建設される予定の3教室のための家具の提供を検討していたにも関わらず、生徒が臨時教室で利用していた家具を学校が新しい教室に移した事により、最終的にこの活動は実行されなかった。

プロジェクトを実施するため、建設業での非正規労働の労働力を供与した父兄と、同じく様々な仕事において支援した教職員との教育委員会の助けが持たれた。

もたらされた結果は満足のいくものである。現在新しいインフラ設備はより良い教育条件での教育サービスと、現在の生徒または将来生徒となる者にとって物質的な安全性の供給に寄与しているからである。プロジェクトを終了するにあたり地域社会は新しい学校建造物のための予防的で補正的なメンテナンス活動の発展のため、より組織的で能力的になった。

## 4 . プロジェクトの受恵者

### 受恵集団の記述

プロジェクトの受恵集団は 544 人の生徒（男 282 人、女 272 人）と 13 人の学校教職員である。

チュイスック村の住民の主な特徴は以下の通りである：マヤ系先住民に属するキチエ族の人口は 94% で非先住民は 6% である。住民は 63.39% の貧困水準と 17.85% の極貧率を示している。

この行政区の住民の経済構造は根本的に、毎日の食事の基盤を構成するトウモロコシやマメを栽培する零細農業に基づかれている。補足として、地域社会の経済面において活動的な住民は手工業の職務に従事しており、50% はケツアルテナンゴの市の小規模工場や建設業で働く日雇労働者で、住民の小集団（約 10%）は商業活動に従事している。

住民の最も特徴的な側面において以下のように言及できる：平均余命は 61.7 年、幼児死亡割合は 1000 人に 49 人で、55% の一般レベルに匹敵する非識字率の高さが女性に際立って存在する。（女性の非識字者の率は全体の 35%、男性においては 20%）SEGEPLAN 資料による

### 受恵者の数量化

記述説明	数
<b>直接的受恵者</b>	567 人
生徒	554 人
教職員	13 人
<b>間接的受恵者</b>	1,479 人
父兄	600 人
その他の住民	879 人
<b>見込まれる被害者</b>	0 人
<b>受恵者合計</b>	2,046 人

## 学年別生徒

学年	男	女	計
就学前 A組	20人	22人	42人
就学前 B組	13人	27人	40人
1年生 A組	22人	22人	44人
1年生 B組	20人	22人	42人
1年生 C組	22人	18人	40人
2年生 A組	19人	25人	44人
2年生 B組	24人	18人	42人
3年生 A組	22人	20人	42人
3年生 B組	22人	20人	42人
4年生 A組	27人	13人	40人
4年生 B組	19人	21人	40人
5年生(1クラス)	33人	23人	56人
6年生(1クラス)	19人	21人	40人
合計	282人	272人	554人

## 5 . 実施活動（最初の提案で含まれていたもの）

チュイスック村の教室3室の建設のためにあらかじめ計画されていた以下の活動が実行された。

**デザインと設計図の作成**：次の要素を含めて工事の見積のため設計図の作成が進められた：梁の設計図、柱の詳細図、歩道の詳細図、地形図、基礎伏図、完成予想図、レイアウト配置図、天井伏図、電気配線図、主要立面図、入口詳細図。

**予算の作成**：項目タイプ別の各構成要素の予算の詳細にわたる作成が進められた：図面、土台、構造壁、柱礎等。

**物理的な工事建設の見積**：この活動は、様々な建設会社が提案を示して専門的基準（経験、技能、価格等）に基づいて最良の提案を選択する目的により、工事建設のための入札のプロセスの実施から成り立つ。

**工事建設**：技術的明細事項をベースにして、契約した会社は見積もられた予定に基づく物理的な工事建設（3教室）を進めた。

**監督及び監察**：物理的な工事建設の期間中、インテルビダ・グアテマラのインフラ設備分野は建設の監督及び監察を担った。これは設計図や関連事項において設けられた技術的明細事項の遂行の目的による。

**物理的な工事の引渡し**：終了した物理的な工事は、完工式においてインテルビダによる地域社会から教職者への引渡しが進められた。

**最終評価**：工事引渡しより後、結果あるいは成果が期待通りの効果をもたらしているかを検証するため、適当な期間においてプロジェクトの最終評価の実施が進められた。

## 6 . その他の実施活動 (最初の提案で含まれていなかったもの)

最初の提案の中で検討されていなかった活動は実行されなかった。

## 7 . 成果

計画	実現
<b>具体的な目的</b> ケツアルテナンゴ県オリンテペケ行政区のチュイスック村立学校の教育システムのインフラ設備の改善に寄与する	<b>具体的な目的</b> ケツアルテナンゴ県オリンテペケ行政区のチュイスック村立学校のインフラ設備は改善された
<b>結果</b>   教育に関するグループのための使い勝手が良く安全で快適な教室 3 室   机と黒板で構成される教室用学校家具	<b>結果</b>   教育に関するグループのための使い勝手が良く安全で快適な教室 3 室

## 8 . 活動の最終予定表

活動	04年3月	04年4月	04年5月	04年6月	04年7月	04年8月
設計図及びデザイン作成						
予算作成						
物理的な工事見積						
工事建設						
監督・監察						
学校家具の引渡し						
工事引渡しと完工						
最終評価						

## 9 . 予算の執行

説明	当初予算 (ユーロ)	予算実施		
		ケツアル	ドル	ユーロ
建設資材	14,221.50	112,404.77	14,149.64	10,373.67
送料	1,072.08	24,000.00	3,021.15	2,214.93
正規労働者	5,666.85	60,000.00	7,552.87	5,537.31
機材・道具	612.63	3,500.00	440.58	323.01
学校家具	1,388.00	-	-	-
<b>直接費の小計</b>	<b>22,961.06</b>	<b>199,904.77</b>	<b>25,164.24</b>	<b>18,448.92</b>
運営費	1,378.41	7,996.19	1,006.57	737.96
監督	1,455.00	7,996.19	1,006.57	737.96
光熱費	1,531.59	13,993.33	1,761.50	1,291.43
<b>間接費の小計</b>	<b>4,365.00</b>	<b>29,985.71</b>	<b>3,774.64</b>	<b>2,767.35</b>
<b>インフラ設備総計</b>	<b>27,326.06</b>	<b>229,890.48</b>	<b>28,938.88</b>	<b>21,216.27</b>

適用為替レート 1ドル = 7.994 ケツアル (2004/12/31)

適用為替レート 1ドル = 0.73314 ユーロ (2004/12/31)

## 10 . プロジェクト実施及び全関係者の参加の全般評価

ケツアルテナンゴ県オリンテペケ行政区チュイスック村の地域社会により示された需要は、同地域における教育サービスの改善に寄与する教室3室の建設を通して満足のいくものとなっている。

プロジェクト当初から親や教職員は次の側面においてプロセスに関与した：

- Ⅰ 親（母親、父親）は工事建設のための協力業務のプロセスの間、その一部をなした。
- Ⅰ 非正規の労働力で建設の仕事に参加した。
- Ⅰ プロジェクトの持続性を保証するため親や学校教職員と同じく教育委員会も同意の署名を通して約束を受け入れた。これは長期間に渡り地域の子ども達への教育システム改善の手段としてこれら設備が働くよう設備に適切なメンテナンスを提供するためである。地域社会へ所有権の意義を供与するため、建設された学校インフラ設備（教室3室）は学校の既存のインフラ設備に正式に加えられた。

## 1 1 . 付属文書

実施報告と伴って提示する付属文書の報告は以下の通りである。

- Ⅰ 工事開始の同意
- Ⅰ 工事終了の同意
- Ⅰ 写真アーカイブ